

議



安曇野市

第37号

発行 安曇野市議会
平成27年2月4日

会 三 よ り



“輝” 安曇野の未来を見つめる新成人たち

初めて、賛成・反対が同数で議長が決す

12月定例会で決まりました

障害者支援事業の拡充他補正予算

常任委員会で審査しました

市政のここが聴きたい！ 12月定例会代表質問・一般質問

市民の声・編集後記

2ページ

4ページ

6ページ

8ページ

20ページ

人口と世帯

平成27年(2015年)1月1日現在 ※ () 内は対前月比

人口 98,630人(-65) / 男 47,833人(-30) / 女 50,797人(-35) / 世帯 38,167世帯(-23)

初めて、賛成・反対が同数で議長が決す。



公園で遊ぶ子ども達

請願第4号 安曇野市議会議場に国旗・市旗を掲揚するよう求める請願

新本庁舎内の議場に国旗と市旗を掲揚する請願について、総務委員会で審査した結果は賛成少数で「不採択」と決定し本会議に報告された。本会議では、委員長報告に対する討論があり、請願について採決したところ賛成12人、反対12人の同数となったため議長が決めることとなり「採択」と決した。

反対の意見

・憲法では第8章に地方自治を定めている。地方自治は地方公共団体が法人格を持ち地方政府と考える。市民の皆さんの主権に基づいて討論する場が議場であり、国旗がなくても市民主権の立場から市章があれば十分。市民のための政治をする議場には国旗は必要ない。

賛成の意見

・国旗及び国歌に関する法律が施行され国を象徴するシンボルで国家にとって必要。行事や式典などで国旗が掲揚され定着し、オリンピックなど国際競技大会で国旗・国歌に敬意を払っている。自国の国旗に敬意と誇りを持ち、自由闊達な議論を交わす議場に国旗と市旗を掲揚すべきである。

採択



陳情第11号 安曇養護学校に在籍する安曇野市在住の子どもたちの通学負担軽減のためのバス配置について(福祉教育委員会では賛成多数で採択)

反対の意見

・市が直接実施するのではなく、県に対して通学負担の軽減策を求めるべきだ。市は、県の施設に係る運用管理を賄うほど余裕はない。
・ルール、法律、制度、そういった分担のきちとした仕組みの中では賛成できない。

賛成の意見

・議会として採択し、市長の英断を後押しする議会の心を示そう。
・子ども達の親は市民として税金を納めている。就学先が県ということで差別するのはいかなものか。卒業すれば、安曇野市民として生活していく子ども達であることを考えてほしい。
・須坂市立須坂支援学校の例からも明確だが、県の事業でも市にもできることはある。子どもの成長と教育には、タイミングが大切で、待たせておくわけにはいかない。経費の試算によれば、大型バスに運転手と介助員2人で、800万円程度だ。小型バスで運転手と介助員1人なら、500万円か600万円程度で可能だろう。困っている子ども達とその家族を一日も早く助けるべきだ。



不採択

請願第7号 介護従事者の処遇改善を求める請願書(福祉教育委員会では全員賛成で採択)

反対の意見

・処遇改善の費用は国費で行うとあるが、社会保障のための消費税10%アップをどのように考えるのか。
・処遇改善の費用について、保険料や利用料に転嫁せず、国費で行うという点については賛成できない。

賛成の意見

・介護従事者は大変厳しい状況に置かれて、月額でも平均賃金より9万円も下回っている状況。利用者と介護従事者が対立関係にならないように、国が補填していく。国が始めた制度なので、国が責任を持って滞りなくやっていくのが筋。消費税に頼らない道をきちんと考えていくべきだ。

不採択



条例制定

子ども・子育てへの環境整備のため、支援制度がはじまります。

保育所や幼稚園をはじめ乳幼児を対象とした小規模な施設も「認可」と「確認」を受けることで、新たな給付制度の対象になる。

議案第103号 安曇野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

可決

小規模保育(定員6~19人)や家庭的保育(定員1~5人)事業など地域型保育事業の認可基準を定めている。

議案第104号 安曇野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

可決

地域型保育事業と施設型保育事業(保育所や幼稚園など)について、新たな給付制度の対象になるか確認する基準を定めている。

議員提出第11号 介護従事者の処遇改善を求める意見書(請願第7号に基づいた意見書)

賛成少数で否決

議員提出第14号 介護従事者等の処遇改善を求める意見書(議員提出第11号の意見書から、「処遇改善の費用については、保険料や利用料に転嫁せず、国費で行うこと。」を削除した意見書)

賛成多数で可決

報告事項

報告番号	件名	結果	
29号	地方自治法第180条の規定による専決処分報告について	受理	
30号			林道事故に関する事
31号			道路事故に関する事
32号			財物事故に関する事
33号			
34号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度安曇野市一般会計補正予算(専決第1号))	承認	
35号	地方自治法第180条の規定による専決処分報告について	受理	
36号			自動車事故に関する事

産業・経済

議案番号	件名	結果
109号	安曇野市豊科女性研修センター条例の一部を改正する条例	可決
110号	安曇野市有明山林財産区管理会条例及び安曇野市穂高山林財産区管理会条例の一部を改正する条例	
119号	豊科安曇野の里自然活用村	
120号	ファインビュー室山	
121号	ほりでーゆ〜四季の郷及び周辺施設	
122号	公の施設の指定管理者の指定について	
123号	三郷やすらぎ空間施設	
124号	三郷畜産活性化施設	
125号	安曇野市三郷堆肥センター	
129号	安曇野市・松本市山林組合規約の変更について	

総務・財政

議案番号	件名	結果
98号	安曇野市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例	可決
99号	安曇野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
100号	安曇野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
101号	安曇野市本庁舎等建設審議会条例を廃止する条例	
112号	平成26年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)	
130号	安曇野市一般職の職員の給与に関する条例及び安曇野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
131号	安曇野市特別職の職員等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
132号	安曇野市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	
133号	安曇野市新本庁舎建設工事変更請負契約について	
134号	自動車事故に係る損害賠償について	
135号	本庁舎建設事業 什器購入(その1)に係る売買契約について	
136号	本庁舎建設事業 什器購入(その2)に係る売買契約について	
137号	本庁舎建設事業 什器購入(その3)に係る売買契約について	
138号	本庁舎建設事業 什器購入(その4)に係る売買契約について	
139号	本庁舎建設事業 什器購入(その5)に係る売買契約について	
140号	本庁舎建設事業 行政情報コーナー整備関係備品購入に係る売買契約について	

教育

議案番号	件名	結果
111号	安曇野市博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金条例の一部を改正する条例	可決
117号	穂高幼稚園耐震補強・大規模改造工事変更請負契約について	可決
126号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市穂高プール)	

健康・福祉

議案番号	件名	結果
102号	安曇野市児童クラブ利用者負担金条例の一部を改正する条例	可決
103号	安曇野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
104号	安曇野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	
105号	安曇野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
106号	安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
107号	安曇野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	
108号	安曇野市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例	
113号	平成26年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
114号	平成26年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
118号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市穂高老人保健センター)	

建設・水道

議案番号	件名	結果
115号	平成26年度安曇野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
116号	平成26年度安曇野市水道事業会計補正予算(第1号)	
127号	市道の廃止について	
128号	市道の認定について	

請願

請願番号	件名	結果
4号	安曇野市議会議場に国旗・市旗を掲揚するよう求める請願	採択
5号	梓橋の新設(改修)の早期着工の請願について	不採択
6号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	
7号	介護従事者の処遇改善を求める請願書	

陳情

陳情番号	件名	結果
7号	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書(案)の採択と政府への働き掛けについて	採択
9号	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める陳情書	不採択
10号	戦没者御遺骨帰還に関する法律制定の賛成する意見書提出を求める陳情書	採択
11号	安曇養護学校に在籍する安曇野市在住の子どもの通学負担軽減のためのバス配置について	不採択
12号	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情書	採択
13号	「安曇野市議会議員の寄附禁止に関する条例」の制定、及び「平成26年2月に行われた当市議会議員の寄附行為の真実の究明、公表」を求める陳情	不採択

議員提出議案

議案番号	件名	結果
9号	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書	可決
10号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書	可決
11号	介護従事者の処遇改善を求める意見書	
12号	戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成する意見書	
13号	ヘイトスピーチ対策に関する意見書	
14号	介護従事者等の処遇改善を求める意見書	可決

平成26年度安曇野市一般会計補正予算(第4号) 賛成多数で可決

補正前の予算額
447億8,900万円

補正予算額
△4億4,500万円

補正後の予算額
443億4,400万円

先送りになった事業があり、全体としてマイナス補正となりました。

クローズアップ
福祉

障害者支援事業の拡充

障害者等サービス利用計画を立てることにより障がいのある皆さんが、自分にあったサービスが利用できるようになります。

1億2,500万6千円



捕獲された熊

クローズアップ
熊

有害鳥獣駆除費を増額

今年度は“熊”がたくさん出没しました。

313万5千円

	目撃件数	補殺頭数	放獣頭数	被害件数
平成26年度	198	53	23	19
平成25年度	31	10	9	8
増減率(%)	639	530	256	238

※平成26年度は12月現在

クローズアップ
松くい虫

松くい虫被害対策事業の増額

個人宅の庭木や地域神社の伐採は、被害本数が多く処理費用が不足しています。

1,180万1千円



伐倒作業

大規模事業の契約議決

契約変更

穂高幼稚園耐震補強・大規模改造工事変更
請負契約を締結

可決

議案第117号 変更前 3億240万円
変更後 3億1,908万6,000円

安曇野市新本庁舎建設工事変更
請負契約を締結

可決

議案第133号 変更前 52億1,566万5,000円
変更後 54億3,845万8,200円

新たな契約

本庁舎建設事業に関連した什器購入5件と行政情報コーナー整備関係備品購入に係る契約1件を締結

可決

議案第135号~140号 1億7,771万4,000円

常任委員会で審査しました。

※常任委員会とは…議会の中に常設されている委員会。議案や請願・陳情について、より専門的に審査を行う。

福祉教育委員会

家庭的保育事業等の基準を定める
条例が制定された

議案第 103 号

賛成多数で可決

安曇野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

反対の意見

・「保育士又は保育士と同等の知識を有するもの」など、保育士でなくてもよいと解される部分があるが、この時期の子どもの成長を支えていくには、有資格者が必要だと考える。

賛成の意見

・条例の内容をひとつずつ吟味すれば全く不安がないとは言えないが、今後さらによりよい子育て支援が実現していく過程として賛成する。

請願第 6 号

全員賛成で採択

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

意見

・命を守る現場で働いている方たちが、自分自身の命や健康を損なうような過酷な状況で働いている。自分の健康を守ってこそ、患者の健康を守れると思う。働く環境改善は喫緊の課題。

請願第 7 号

全員賛成で採択

介護従事者の処遇改善を求める請願書

意見

・今後の高齢化を見据えた中で、処遇改善は今からしっかりやっていかなければならない。



陳情第 11 号

賛成多数で採択

安曇養護学校に在籍する安曇野市在住の子どもたちの通学負担軽減のためのバス配置について

意見

・県立の学校ではあるが、市としてもできることはある。
・地域の子どもは地域で育てるという観点からも児童生徒やその家族の願いを叶えたい。

建設水道委員会

梓橋の新設（改修）の早期着工を…
21,524 人の署名簿を提出

請願第 5 号

全員賛成で採択

梓橋の新設（改修）の早期着工の請願について

旧国道 147 号線梓橋を変則 3 車線に改善したが、交通渋滞は一向に改善されていないので、早急に全線の 3 車線化について、関係機関への働きかけを求める請願

意見

・請願には、施設の老朽化による抜本的な改修についてもうたわれているが、とりえず現状の交通渋滞の緩和策として、橋梁のオール 3 車線化を進めるべきである。
・梓橋の新設・改修については、早急にやっていただく必要があると思うので、市として引き続き要望してほしいと思う。もう一方で、県や松本市などと連携して、渋滞解消に向けた方策を一緒にとる必要があると思う。

法人税や交付税の増額を見込んだ財源調整

議案第 112 号

全員賛成で可決

平成 26 年度安曇野市一般会計補正予算（第 4 号）
（建設水道委員会所管事項）

Q 土木費の道路橋梁新設改良費の歳入で、公共施設整備基金繰入金 3 億 2,300 万円を財源調整したということだが、理由を聞きたい。

A 公共施設整備基金繰入金については、当初は整備基金を組み入れて事業を行う計画だったが、法人税や交付税の増額が見込まれたことで、基金の取り崩しを行わずに一般財源を充てるといった財政計画によるものである。



渋滞解消が望まれる梓橋

総務委員会

経済・財源で論議

陳情第 9 号

賛成少数で不採択

国に対し、消費税 10% への増税中止を求める陳情書

反対の意見

・市民生活への負担はかかるが、子育て支援や高齢者福祉などの財源に充てることを前提として陳情に反対。

賛成の意見

・消費税のアップで他の税収が落ち込む。消費税アップを中止して経済成長基盤を築くことが必要。

上位法との関係は

陳情第 13 号

賛成なしで不採択

「安曇野市議会議員の寄附禁止に関する条例」の制定、及び「平成 26 年 2 月に行われた当市市議会議員の寄附行為の真実の究明、公表」を求める陳情

反対の意見

・公職選挙法と議員の問題であり、今回の行為の真実の究明、公表は議会で行うことではなく、法律において対応する担当に任せるべき。議会では倫理面での対応が必要。



環境経済委員会

安曇野の豊かな自然を守り、
安らぎと憩いの拠点づくりに

議案第 112 号

賛成多数で可決

平成 26 年度安曇野市一般会計補正予算（第 4 号）
（環境経済委員会所管事項）

Q 有害鳥獣駆除対策に関し、本年度は熊の出没情報が非常に多かった。具体的にどうだったのか。

A 目撃情報 198 件、捕殺 53 件（人家周辺の場合警察官立会いのもと人的被害に及ぶ前に緊急捕殺処分を含む）、放獣 23 頭、農作物被害は 19 件発生している。（12 月 8 日現在）



区民総出で有害鳥獣防止柵の施工（堀金：田多井区）

Q しゃくなげの湯整備事業は、1 回目の不落到続き 2 回目も不落となったが理由は。

A 不調不落は全国的な傾向である。建築工事のほとんどの市場は民間であり、官庁が発注しても、魅力ある民間工事に向いてしまう。仕事があふれていて、仕事を出しても取っていただけない。

行政のスリム化
「公の施設」の指定管理

議案第 120 号

賛成多数で可決

公の施設の指定管理者の指定について（ファインビュー室山）

反対の意見

・ファインビュー室山は、貴重な市民の財産であり憩いの場、田舎と都市の交流施設だ。市の財産として持ち続けるべきで、将来的に民間に譲渡していく考えがあるので、指定管理には反対する。

賛成の意見

・公の施設の在り方検討委員会で議論がつくされた。民間譲渡も含め指定管理には賛成する。

市政のことが聴きたい!!

● 会派代表質問 (8〜10ページ)
● 一般質問 (11〜17ページ)



信誠会 濱 昭 次

転換点を迎えた、市の行財政運営は

問 新年度、10年目にしてようやく9か所に分散していた本庁機能が1か所に集約され、新本庁舎が供用開始する(実際には5月7日より)。本来の行政の姿に戻ることに、無駄な経費が実際どのくらい削減できるのか。また、部署改編をして総合支所を支所へ変更したことは、どう生かされるか。
市長 まず、組織体制については、平成22年12月の安曇野市本庁舎等建設基本計画に基づき、本庁舎と総合支所(現在は支所)の役割を明確にする中で検討し、平成23年市議会12月定例会に新組織体制の段階的改編案を示し、検討してきた。新本庁舎供用開始後、スムーズに業務移行できるように組織再編成を1年前倒しで実施したことは有用であった。
分庁による無駄な経費の削減分については、現在新年度予算を組み上げている時期であり、徹底した削減、既成概念にとらわれない予算編成に努めるよう、各部署に指示をだしたところである。
問 議会とすれば、12月定例会が過ぎれば3月定例会で出来上がった予算に対して異議を申すしなく、1年前から平成27年度当初予算に明確な削減数値を反映させるべきと質問してきた。所管の部長として、数字的に言えないのか。
財政部長 例として公用車の削減は、合併以来順次進めているところである。新年度予算編成に伴って、共用で使用している車両を20台削減予定である。新本庁舎においては、利用頻度、老朽化の具合により更に削減を進めていく。



供用開始間近な安曇野市新本庁舎(平成26年12月)

土地利用制度の見直し
問 何に主眼を置いて見直すのか。
市長 安曇野市都市計画マスタープランに基づき、具体的に進めるためのツールが土地利用に関する条例であり、有効に機能しているか検証を行う。



政和会 平 林 徳 子

人口減少社会にどう対応していくか

問 人口減少社会をどう認識しているか。
市長 人口減少・少子化時代に備えるため交流人口の拡大、産業振興による雇用の場の確保が課題である。
問 交流人口拡大策として①観光客の誘致②ハーフレソン③移住者の受け入れについて伺う。
市長 ①北陸新幹線の金沢延伸を見据え、市・観光協会も積極的に安曇野をPRしてきた。着地型観光商品の造成に取り組んでいる。外国人旅行者は前年度比130%の伸び。観光協会では研修会や英会話教室を開催している。特産のりんごによる外国人旅行者の誘致にむけ営業展開をする。②参加ランナーのアンケートではプレ大会に関する満足度は約98%であった。問題は来年の大会に生かしたい。ゲストランナーは人選を含め検討中である。③政策経営課が窓口となり移住相談に応じている。移住促進パンフレット「安曇野暮らしのススメ」により情報発信し、さらに読みやすいものに修正していく。銀座NAGANOの活用では、観光とりんごのPR、移住相談窓口も開設した。
問 教育の充実について①わかる授業のための取り組み②スマートフォン等でのいじめ対策について伺う。
教育長 ①多様な子ども達を大事にする観点から、少人数学習等支援員、障がい児支援介助員、特別支援学級支援員等、市費で63人1億1千万円超の予算で行っている。タブレットの活用については先進地や県内の導入校を参考に、検証したい。②携帯電話やスマートフォンを持つ児童・生徒の割合は年ごとに高くなっており、PTAや親子参加の研修等、学校と連携



子育て支援(高槻市まちごと図書館)

問 女性が働きやすい環境整備について①保育の現状について②病児、病後児保育について伺う。
福祉部長 ①近年、年中、年長の人数は減少傾向にあり、3歳未満児が増えている。②現在市内の医療機関と交渉しており、平成27年度中の実施にむけ調整中である。

戦争する国への道を踏み切らせてはいけない

日本共産党安曇野市議員 松澤好哲



問 安倍内閣の暴走で、景気が回復して国民の暮らしはよくなるどころか格差が拡大し、消費税増税で国民の購買力は下がり、打撃をこうもっている。また、憲法を踏みじり、集団的自衛権の行使により「戦争する国」へ踏み出そうとしている。11月29日に、幅広い方々で「戦争する国にさせない安曇野1000人委員会」が結成された。市長の考えを伺う。
市長 再び戦争に巻き込まれないように、戦争を起さないように平和憲法の精神をしっかり堅持していかなければならないが、市民の皆さんの自主的な行動や運動に任せる立場にある。平成27年度予算と市政の在り方は
問 重点政策と103項目

の予算要求のうち①保育料の第3子無料化②国保税を加入一世帯一万円の引き下げ③除雪体制の整備充実と除雪中型車の購入について伺う。
市長 ①第3子以降の3〜5歳児の保育料を無料にする②国保税の引き下げはできない③市道873kmを除雪路線に指定。大雪対策は122kmを除雪優先道路に指定。小型除雪機を購入し区に貸与、さらに区の要望を踏まえて増強に努める。
暮らし優先の市財政は
問 交付税減や人口減でおこる33年問題をどう考えるか。毎年借りては返す財政計画で、市の財政や市民の暮らしはよくなるか。
市長 財政は必要に応じ計画を見直しを予定している。



市長に「103項目」の要求書提出

※代表質問とは：所属する会派を代表して、市の仕事の全般にわたり、行政に対し事務の執行状況や将来の方針などについて質問すること。

新年度から始まる国の施策を市としてどう取り組むか

公明党 小松 芳樹



問 来年度から国で法整備がされて始まる、「子ども・子育て新制度」において、保育の質が低下することのないよう、どのような対応をしていくのか。また保育士・幼稚園教諭の待遇は変わらないのか。

市長 国の施策を受け、市としては地域における子育て支援の充実を目指し、支援事業計画の策定と条例等

の例規整備に取り組んできた。今後とも園児の安全確保と安心な保育のため、必要な対応をしていく。5年の経過措置期間中、認定こども園化するにあたり、現在の保育士・幼稚園教諭の経験年数に着目して一定の支援をするが、待遇自体に変更はない。そのためにも、施設整備を含め安定的な財源確保を国に求めている。

問 認可外保育園の施設整備に、市として新たに補助をする考えはあるか。

福祉部長 新制度の給付基準を満たすための施設の整備や改修に対しては、補助金を交付したいと考えている。合わせて野外保育園など特色のある保育・就学前教育を行っている施設にも検討していく。

公会計と公共白書

問 平成27年1月に総務省から通達予定の、公会計への取り組みと方針を伺う。

財政部長 公会計に基づく財務諸表を平成18年度から作成し公開している。それに基づき平成25年度決算は、総務省方式改訂モデルで作成を行った。予定されている通達では平成29年ま



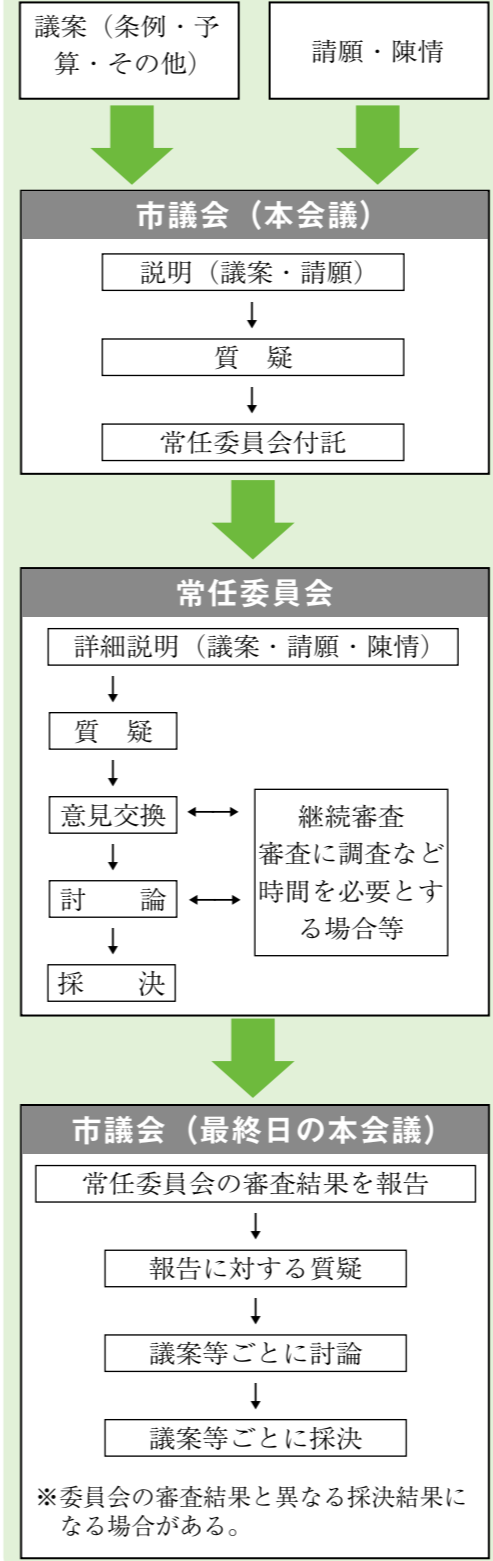
現公立保育園は「認定こども園」へ

で整備要請されているので、まず固定資産台帳の整備を進め、複式簿記に基づく財務諸表の作成に移る予定。その台帳を参考に、公共施設再配置計画や総合管理計画の策定を始める。

問 公共白書から見えてくると、施設の統廃合計画は、市長 統廃合は実施していかなくてはいけない大きな政治判断だと捉えている。ただし市民の皆さんにご理解いただく必要が第一歩と考えている。

議 会 マ ヶ 知 識

議案・請願・陳情の基本的な流れ



平成26年 第1回臨時会(10月)
教育委員会委員 橋渡 勝也さんの任命について同意
任期:平成26年11月9日から4年



「活力ある地域創生」南部地域の活性化は可能か

信誠会 小松 洋一郎



日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子

健康長寿のまちづくりに向けて

問 市南部地域は、室山や楡の里など観光資源が集積している。行政主導による地域活性化プロジェクトを結成し活力ある地域創生を目指せないか。

市長 観光集客に結びつけるためには、地元企業や地域の皆さんの主体的な取り組みが必要であり、民間と行政が力を合わせる必要が大きい。「かんでんぱば」の会長はこの地域を観光拠点および商業圏に繋げたいと言っている。

問 最適な農業環境下での農家民泊、農業体験は農家を元気にするのか。

農林部長 農家の体験プログラムと農作業メニューの情報提供を考えている。三郷サラダ市の手狭対策として増設か移転を視野に考えられないか。

農林部長 建築基準法等や農業振興地域により増設および移転は困難である。



三郷やすらぎ空間施設

暫定策として、大型コンテナ設置による簡易売り場の拡大を検討する。

問 6次産業の取り組み状況と課題は。

農林部長 農林水産省認定は牧大根の漬物、信州サーモン・虹鱈の養殖加工販売のみ。その他直売加工所や農家レストラン等は今後調査する。現状把握を含め、地域ぐるみで取り組む6次産業を、農家の目線で推進していく。

問 三郷やすらぎ空間施設の新たな経営姿勢を伺う。

農林部長 営業時間拡大、オープンカフェ新設、鮮魚と生鮮融合メニューによる差別化、売店コーナー設置などを予定。周辺地域の活性化を期待する。

問 今回の社会保障改革は、国にとって効率的で、低コストな体制にしようとしている内容で、社会保障のあり方が根本から変わるものだ。健康長寿のまちづくりと合致するものなのか。

市長 国の政策は、増大する社会保障費の伸びをできるだけ抑えようということ、市も同様だ。予防可能な部分、生活習慣病予防、介護予防活動など健康長寿に向けた取り組みをしたい。

問 信大の栗田先生の話では、歯科疾患は糖尿病、狭心症、心筋梗塞などありとあらゆる病気に関連するそうだが、妊婦が歯周病になった場合、胎児にも影響があり、早産とか低体重児が生まれるという。歯の健診も定期的に行うことが大事だ。妊婦に対して、あるいは歯科検診率が低い20歳代、40歳代の健診が受けやすい支援ができないか。

保健医療部長 体の健診も一緒に行える若年健診や、医療機関で行える妊婦歯科健診を実施する方向で検討したい。



問 子どもの医療費の窓口無料化について

福祉部長 国保のペナルティは6100万円余。これは県に補填していただきたい。市は貸付制度があり、生活困窮者、低所得者に対応できている。

※一般質問とは・・・「市政一般に関する質問」で、議員が市政課題等について取り上げ、行政に質問すること。



食育を超えた教育 「弁当の日」の実現を

無所属 増田 望三郎

問 全国の学校で、子ども達が自主的に弁当をつくる「弁当の日」という取り組みが広がっている。これは子ども達にとって感謝の心、自信や自立心、実行力など生きていく上で必要な力を育むことになる。地元食材を使つての弁当づくりは地産地消にもなり、郷土愛にもつながる。何よりも弁当づくりを通して、親は子に向き合うことになり、親も子も共に育ち合う。安曇野市でも実現できないか。

教育長 子どもが成長していく上で自立を促すよい契機になる。

問 弁当の日について、具体的にどのような検討をしているか。

保健医療部長 市の食育推進会議で、食育推進の一環として検討している。

教育部長 各学校、また関係者と連携して、実現に向けて進めていくという前提で検討していく。

安曇野にふさわしい環境基準を

問 環境省告示の環境基準では、騒音に関し、住居の用に供される地域等は55dB、相当数の住居とあわせて商業・工業用に供される地域とするところで



も60dBと示されている。この基準からすると、公害防止条例でその他の地域の規制基準が65dBとされているのは緩い。市の大部分の地域が国の基準より悪い値に設定されている。条例を見直し、田園産業都市安曇野にふさわしい規制基準を定めるべきではないか。

市民生活部長 条例は国の騒音規制法を補完するもの。環境基準と規制基準を一緒にすると、適切な産業の発展や日々の子どもの生活なども全て規制されることになる。学校・病院等への配慮規定もある。当面はこの形で進める。



松本山雅FCへの今後の取り組み姿勢

信誠会 宮澤 豊次

問 サッカーリーグの最高峰であるJ1に、松本山雅FCの昇格が決定。当地域にとって大きな出来事となるが、これからのホームタウンとしての対応や取り組みについて伺う。

市長 J1昇格でクラブの評価は一層高まっており、今までの以上の地域経済波及効果を期待している。ホームタウン活動を通じて、地域づくり、青少年の健全育成、またスポーツ振興により健康長寿のまちづくりにつながっていくことを期待している。

問 松本山雅FCへの出資金の増額や後援会安曇野支部への協力体制について、どのように考えているのか。

市長 地域貢献が期待できる松本山雅FCへの出資については、公益性に配慮し、現在ホームタウンである4市村で調整を図りながら検討していく。

政策部長 松本山雅後援会安曇野支部は地域の活性化および青少年の健全育成や明るく豊かなまちづくりの実現を目的に結成されており、積極的な地域貢献の役割を果たしていることから、事業活動には前向きに対応していきたい。



来季J1の舞台上で闘う松本山雅FC

豊科近代美術館の活用整備について

問 美術館の名称を安曇野市美術館への変更はどうか。また、活用を図るための周辺整備について伺う。

市長 安曇野市を用いることは好ましいが、旧町村から引き継いだものであり、他の施設との兼ね合いも含め、全体的な検討を慎重にしていく。

教育部長 新本庁舎が開庁すれば周辺を訪れる市民が増えるので、魅力ある企画展や催しを展開していきたい。

また、バラ園周辺の環境整備をすることにより、新たな文化創造や憩いの場になるようにしていきたい。



新本庁舎建設現場に働く仲間のインフレスライド効果は

政和会 内川 集雄

問 安曇野市は前田・岡谷JVから工事請負契約書第25条6項に基づく請負代金変更として、平成26年4月1日以降行う工事未着工分65%について2億2000万円の増額補正をした。庁舎建設に関わる下請け業者は、1次から4次の下請けまで300社を超え、働く市民は4割を超える。厳冬、猛暑の中現場で働く人々からは、「恩恵はない」との声を聴く。現場で働く人々に恩恵がなければ、反対運動を受けながらも新本庁舎を建設する意味がない。現場の声を聴いたかお聞きする。

総務部長 市は前田・岡谷JVと本庁舎建設請負契約を結んだが、下請け契約は民間と民間の契約であり、市はそこまで入ることができない。市が、直接下請け業者の声を聴く機会は持てない状況であった。

問 インフレスライド条項を適用することについて、下請け業者に周知徹底をしたか伺う。

総務部長 元請けは、下請け企業に対し周知するよう国から通達が出ている。元請の責任としてお願いをした。



新本庁舎建設現場で働く人たち

問 前田・岡谷JVだけが、インフレスライド条項により2億2000万円が入り恩恵を受けた。下請け業者も条件は同じであるが、恩恵は受けない。すべての働く者が等しくインフレスライド条項の恩恵を受けてこそまじめに働く者が元気になる。法律違反と考えるが市としてどう思うか。

総務部長 国からの建設業界への通知により、インフレスライド条項が適用された。元請けを通じて制度の適正な運用をお願いしてきた。

【その他の質問事項】
○「残したい静けさ、美しさ」長峰山の自然の姿を



千葉県東金市との友好都市の締結を!!

信誠会 一志 信一郎

問 東金市との交流は平成5年に旧堀金村から始まり、あつみの探検隊として東金市の児童生徒が来訪、20年間で延べ1000人に達する。平成24年1月には、災害時相互支援宣言書調印。

また、平成26年4月には、東金市産業交流拠点施設に安曇野市コーナーを特設し、農産物を販売。今日までの行政・議会・市民交流の経過と実績の上に立ち友好都市の締結をし、本市の未来ある子ども達を東金市の大学・施設等で語学等体験交流するのはどうか。

市長 民間交流としては4月に東金市産業交流拠点施設に本市の特産品のコーナーを設置。7月には延命水に竹の穂を寄贈。8月にあつみの探検隊36人が来訪。11月の第2回新そばと食の感謝祭にみよりの郷東金店が出店。東金市制施行六〇周年式典で本市の「絆の会」に感謝状が贈呈。この様な中で両市民の交流を一層深めて友好を強めることは今後の市の発展に大きな期待を持つことができる。友好都市の締結は一つの節目。絆の会、東金市長や東金市議会の意向等確認の上、前向きに考

えていく。

「山の日」と山岳・平地観光について

問 山岳観光と平地観光を今後どう結びつけていくか。

市長 山岳観光にとって「信州山の日」制定や来年の国の「山の日」祝日施行は大変重要な機会であり、一層山岳観光施策の推進が求められる。山と温泉などをテーマにしたテレビ番組を企画し滞在型観光の情報発信をする。安全な山岳観光の振興と温泉・食・歴史や文化などの平地観光との連携を目的に山岳観光推進のための委員会を設立し、積極的に展開をしていく。



城西国際大学 (千葉県東金市)

※一般質問のページは質問した議員本人が作成し、議会広報特別委員会が編集しています。



農林振興を太陽光発電事業で進めるのはどうか

無所属 萩原勝昭

問 平成26年産米の収量減と低米価をどう捉え、今後どのような農業振興の対策を考えているか。

市長 台風や気象条件に左右され全体の収量が減った。また、余剰米の発生が米の安値につながった。国の支援状況を見極め、市も早期に対応する。

問 小規模農家が間伐材で農業用ハウスに支柱を立て、太陽光発電設備を設置し、売電する事業はどうか。

農林部長 農地への太陽光発電設備の設置は、ハウス内の農作物収量が2割以上減収しないこと等を条件に、農地に立てる支柱部分に一時転用許可の手続きをして3年毎に更新する方法で可能になった。しかし、現実的には非常に厳しい。

問 市として小規模農家の売電事業に取り組めないか。また、特区制度の活用はどうか。

農林部長 まだ研究段階だが、透明な太陽光パネルが実用化されれば、園芸施設として農作物が栽培しやすくなる。また、国の特区制度は総合特区制



間伐材を利用した農業用ハウス

※I S D S条項とは…投資家が投資先の国の政策によって被害を受けた場合、訴えることができるとする条項

度と構造改革特区制度があるので情報を収集し、研究を進める。

T P Pの問題はどこにあるか

問 2012年の衆院選の自民党のT P Pに関しての6項目の公約に対する見解と反対の意思表示はどうか。

市長 ①聖域なき関税撤廃を前提としない②自由貿易に反する数値目標は受け入れない③国民皆保険制度を守る④食の安全安心の基準を守る⑤国の主権を損なうI S D S条項に合意しない⑥政府調達・金融サービスなどでわが国の特性を踏まえるなどの国益を守る立場で交渉をし、公約に基づいた対応をとってもらいたい。



消費者被害防止と地域ネットワークの構築

政和会 藤原正三

問 消費者問題、消費者被害への行政の果たす役割に対する見解を伺う。

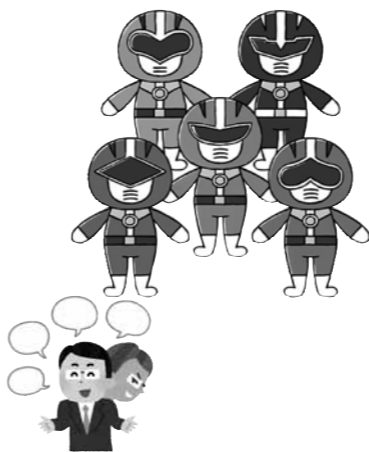
市長 市民一人ひとりが消費社会の一員として自覚を持ち、主体的な行動がとれる自立した消費者像が求められている。市として消費生活センターを設置し、被害相談、被害防止に努めている。消費者保護に万全を期す。

問 一層の被害防止のための地域ネットワークの構築、消費生活相談員をサポートする人材養成を提案するが。

市民生活部長 消費生活サポーターは県で設置し、進めている。市もサポーターと連携し、消費者教育等実施していく。消費者の特性、学校、地域、家庭、職域等にに応じた方法でネットワークの構築に努める。

教育長 小中学校、高校各段階に応じた教育、教職員の研修を実施している。今後、公民館、地区公民館での取り組みを支援していく。

保健医療部長 地域包括支援センターを軸に訪問等の場面で被害拡大防止を図っている。



福祉部長 民生委員、相談支援専門員が、高齢者、障がい者の見守りを図っていく。

問 住民自治の要素と多くの市民の意思が、どれだけ反映されるかが重要だがどうか。

市長 制定のプロセスが大切。市の将来を左右するものであり、庁内全部局を挙げて取り組む。庁内組織の連携調整部署の検討が必要。未来を担う子どもたちの意見も取り入れていく。議会との連携を深めていく。



地域包括ケアシステム 完結のために

公明党 藤原陽子

問 地域包括ケア推進会議が発足した。会議の成果および今後の予定は。

市長 住み慣れた地域で、その人らしい生活を可能な限り維持できるように、保健、医療、福祉サービスおよび地域資源を総合的に調整し、サービスを提供することを目的に11月12日に設立した。高齢者に関わる団体である医師会、介護保険事業者、区長会、消防団、郵便局、商工会等の25人から構成され、この会議を軸に推進する。

保健医療部長 第1回の会議では、認知症の人の在宅生活の支援、徘徊高齢者への支援、閉じこもりの人への支援、足の確保、関係者との連携、情報や正しい知識の普及の6項目について、市が考えている課題解決の方向性を交えて委員会へ示した。年2回から3回の開催を予定している。

問 地域での見守り強化のために、各援助機関と情報共有するための手帳を導入することが有効であると思うが。

保健医療部長 医療、介護、地域の関係者と共に、認知症への取り組みの検討も進めながら、認知症ケアパスの作



成を検討し、必要性も含め研究したい。
問 介護の専門職との交流や、悩みを共有し合える認知症カフェについて。
保健医療部長 N P O法人、介護事業者が、現施設や市内の空家等を利用して開設する場合、改築費用を助成する補助制度の設立を検討している。

問 課題解決に向けた取り組みを伺う。
市民生活部長 区のあり方、地域の課題を地域で解決するための仕組みづくりを検討してきた。区マニュアルの作成を計画し、平成27年1月に地域を考慮する研究集会において公表したい。



M産業の一般廃棄物処理業 許可更新は市独自の判断で

無所属 小林純子

問 平成26年10月中旬、増田建設産業(以下M産業)から県へ産業廃棄物処理業変更届の不明事項に関する回答があったと聞くが、その後の最終的な見解と市の対応は。

市長 市としては県から積極的な情報提供を受けていない。M産業が県へ報告したという事実のみ承知しているだけなので、最終的な見解については県の裁量の範疇であると言えない。
問 防音壁の危険性が問題になって既に数年が経過した。市独自の調査でも危険性が明らかになった。煮え切らない県の対応・結論を待つよりは、一般廃棄物処理業に関する市の許認可権が及ぶ範囲で許可更新の審査を行うべきではないか。

市長 廃棄物行政においては、これまで県と協調してやってきたのに、今回市に情報提供されなかったことは非常に遺憾である。県がM産業の施設について今までと違った見解を示したことについても、市として改めてM産業の現場等を精査し、場合によっては一般廃棄物と産業廃棄物の処理のあり方を



類似の施設が市内に10数カ所計画中

※一般質問の詳細は、議会ホームページまたは各図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください)



「観光立市・安曇野」の推進を

無所属 林 孝彦

問 「観光立市・安曇野」の推進の目標と施策は。

市長 魅力的な観光や観光サービスづくりを進めて、国内外からの観光客の誘客を促進していきたい。

問 2015年の大糸線開業100年、2016年の拾ヶ堰開削200年などの節目行事を通じて、魅力ある安曇野を全国に発信していくことは。

商工観光部長 情報発信に努め、観光誘客につなげていきたい。

問 安曇野へのインバウンド観光、つまり訪日外国人旅行の推進は。

商工観光部長 案内看板の整備等、受け入れ体制の充実を図ることが必要。

問 都会の子ども達に安曇野で農山村での生活を味わってもらい、心の絆を育み、受け入れる地域も元気になる体験型・滞在型の教育交流・教育観光の推進は。

商工観光部長 農林部と連携して、農家民泊の受け入れ準備を進めている。

教育長 都会の子ども達と市内の子ども達の相互交流は、市民レベルの交流拡大も視野に、進めていきたい。



拾ヶ堰から大糸線と北アルプスを望む



切れ目のない妊娠・出産・子育て支援の充実を

公明党 中村 今朝子

問 少子化、核家族化が進行し、地域コミュニティが希薄化する中、一人で悩み孤立する母親が多くなってきた。両親が高齢であったり、働いていて頼れないケースもある。様々な事情で公的な支援の必要性は高まっている。市のこれからの取り組みを伺う。

市長 安心して子どもを産み育てられるようにすることは大きな課題。ニーズも増えてきている。安曇野らしい事業の展開を図っていきたい。

問 産後ケアセンターのようなショートステイ、デイケアのような取り組み、また母親の相談相手になったり一緒に外出したりする、産後ヘルパー事業のような支援はできないか。

保健医療部長 産後ケアはニーズや実施状況を研究していく。

問 子育て世代の外出支援に、授乳やおむつ替えのために気軽に立ち寄ることができる場所が必要だと思う。「赤ちゃんの駅」を提案したい。

保健医療部長 広域で行う方が効果があると思う。研究していきたい。

問 ファミリーサポートでの病児・病後児の預かりに対する不安の声を伺った。二度も不落。当初計画の見直しを。

商工観光部長 床面積、構造なども見直し、より多くの指定管理者から応募をしてもらえよう見直しを図る。

問 観光と健康の二面ではなく、健康に特化すべきではないか。

商工観光部長 あくまで市民利用が大前提だが、西側の観光拠点でもある。

問 圧縮しないと結果が予想されるのではないか。

商工観光部長 事業費の圧縮も想定して見直す、事業費のオーバーもある。

問 事業費もオーバーし、将来的には売り払わねばならない事業を進めるのはどうか。見直し設計に1600万円。むしろ企業責任を取り、傷口が大きくならないようにゼロに戻すべきでは。

商工観光部長 現設計をした知識経験があるので見直しもスムーズにいく。

「総合教育会議」の問題

問 教育に政治の介入はあってはならないと考えるが。

市長 教育の中立性は守っていく。



た。きちんとしたスペースで看護師や保育士が対応すべきと思うがどうか。

福祉部長 安心して預かるスペースは必要だと思う。医療機関と連携して専用スペースで実施することが重要。来年度交渉を進めて、病児保育のスペースを確保していきたい。

問 放課後子ども総合プランが出た。全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせる一体型の放課後児童クラブおよび放課後子ども教室の実施はどうか。

教育部長 近い将来、一体的に、または連携して実施していくように関係機関と協議、調整を図っていきたい。



しゃくなげの湯の計画は白紙に戻してやり直すべきだ

日本共産党安曇野市議員団 井出 勝正

生まれる前から、死んでもとるのが消費税。10%にきっぱりノーを

問 消費税増税政策は、失敗ではないか。市財政への影響は。

市長 円安、株価の上昇で業績好調法人と輸入品が高くなって業績が厳しい企業の二極に。賃上げも物価上昇に追いつかず、非正規雇用が増え、生活が豊かになったと感じている皆さんは多くない。先送りによる影響は大きい。

【その他の質問事項】
○ごみ処理問題。北小倉の産廃施設と「穂高クリーンセンター」の焼却炉更新について

問 合併後10年が経ち、いよいよソフトの充実を図る時期。芸術文化の振興、特に郷土の芸術作品の収集、活用について基本的な考えを聞きたい。

市長 文化、芸術の振興に功績のあった先人を顕彰することは私たちの責務。先人の遺した芸術作品の収集、保存、活用を計画的に進めるべきと考える。

問 急逝した友人の追悼展を機に、市には芸術作品等を新たに収集する明確な仕組みがないことを知った。仕組みを整備し、先人はもちろん、現役の芸術家の作品も収集、活用していく姿勢が必要ではないか。

教育部長 平成25年、豊科近代美術館に収蔵庫を増築したが、収集方針を明確にし、作品を適正に評価する選定委員会の設置等を掲げた要綱が必要と捉え、来年度実施に向け準備している。

問 収集には寄贈を受ける方法もあるが、代表作等は、専門的な評価の上で購入すべきと考える。作品購入に安定的な予算措置を行う考えはないか。

市長 問題は活用、より多くの方々に見ていただく工夫が大切。予算措置は、



豊科近代美術館

総合的に判断すべき課題と捉える。

補正予算の法人市民税増収の扱い

問 今回の一般会計補正予算では、法人市民税が3億4000万円、40%の大幅増。アベノミクス効果と思うが、この増収が、安易に基金に回され、市内経済の活性化に使われていない。市民生活を豊かにする立場で工夫する必要はなかったか。

財政部長 今回の補正では、次年度以降の財源とするため基金に振り向けた。新たな財政部は、税収と予算編成事務が一緒になったことにより、今後は指摘を参考としたい。



しゃくなげの湯建設予定地

※一般質問の詳細は、議会ホームページまたは各図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください)

総務委員会

- 11月4日 視察先 岡山県倉敷市役所
目的 公共施設のあり方等について
- 11月5日 視察先 兵庫県朝来市役所
目的 経済成長戦略について
- 11月6日 視察先 大阪府吹田市役所
目的 自主防災の取り組みについて

【倉敷市役所】

視察経緯 安曇野市の公共施設は合併により重複所有している。また、多くが同時期に老朽化となるなど維持管理を含め今後厳しい財政状況が予想される中、この課題の議論が求められる。

概要及び考察 *ファシリティマネジメント (FM) の推進を柱に3000施設を専門職チーム(リーダーは民間から)の目で図面・図書の整備など現状のデータ化をし、長期修繕計画での維持管理をしていた。安曇野市も公共施設白書を基に、専門チーム(課)による取り組みを望む。

*ファシリティマネジメント (FM) とは・・・効率的な活動のために行う、建築物の設備・人員組織などについての総合的な管理のこと



倉敷市役所

【吹田市役所】

視察経緯 大きな自然災害では、自主防災組織による救助対応などが評価されている。

概要及び考察 小学校区域を基本とした自主防災組織が設立され、避難所生活が長期化した場合を想定した防災訓練など阪神淡路大震災の教訓が活かされている。また、「防災だより」の発行などは情報の共有になるので、本市としても取り組みたい。

【朝来市役所】

視察経緯 産業振興政策は、根幹となる政策が求められる。

概要及び考察 経済成長戦略の視点の一つに域外マネーの獲得を掲げ、市内外への販売と購買状況を産業連関表(一年間の産業者、消費者間取引を把握)として作成し、地域内の高い経済循環を目指していることを本市にも活かしたい。

環境経済委員会

- 11月16日 視察先 秋田県小坂製錬所(株)
目的 小型家電等複合リサイクルに関して
- 11月16日 視察先 秋田県グリーンフィル小坂(株)
目的 ゴミ焼却灰の最終処分施設
- 11月16日 視察先 岩手県北上市役所
目的 産業観光の取り組み・ゆるキャラ活用
- 11月17日 視察先 福島県白河市役所
目的 六次産業の取り組み・松枯れ対策

【小坂製錬所(株)・グリーンフィル小坂(株)】

捨てればただのゴミ、不法投棄に繋がり回収労力費用もかさむ。環境問題として、リサイクル(資源化)に関わる諸問題の解決策の参考に視察した。最重要とする安曇野市の焼却灰の処分、自区内処理の観点から、最先端技術を有する国内最大級処理施設を視察した。

【北上市役所】

企業誘致を積極的に進め、企業の見学ルートを活用した産業観光を推進し



世界一の複合リサイクル製錬所の視察

【白河市役所】

ている。国の重要無形文化財岩手民俗芸能「鬼剣舞」から生まれたゆるキャラ「鬼まるくん」は、20年にわたり活用され効果が大きい。また、みちのく三大桜まつり等、広域滞在型観光への取り組みが強化されている。

白河ブランド戦略事業は、安曇野市の地域ブランドを考えるうえで参考となった。松枯れ被害対策に関して、有識者による薬剤空中散布を積極的に実施している。市民の声、健康被害等反対の声や運動があるかを担当者に聞いてみた。反対運動等はなく理解を得られているとのこと。本市でも重要な問題になっている松枯れ対策の参考となった。

議案等の賛否一覧 (賛否が分かれた事件)

○：賛成 ×：反対 退：退席 議：議長 (可否同数以外採決に加わらない)

議案等番号	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
議案第103号	安曇野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	安曇野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	安曇野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	安曇野市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	平成26年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	平成26年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について(ファインビュー室山)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	公の施設の指定管理者の指定について(ほりでーゆー四季の郷及び周辺施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	安曇野市新本庁舎建設工事変更請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	安曇野市議会議場に国旗・市旗を掲揚するよう求める請願	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第6号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第7号	介護従事者の処遇改善を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第9号	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第11号	安曇養護学校に在籍する安曇野市在住の子どもたちの通学負担軽減のためのバス配置について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第13号	「安曇野市議会議員の寄附禁止に関する条例」の制定、及び「平成26年2月に行われた当市市議会議員の寄附行為の真実の究明、公表」を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議員提出第10号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出第11号	介護従事者の処遇改善を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議員提出第14号	介護従事者等の処遇改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

建設水道委員会

- 11月10日 視察先 東京都江戸川区役所
目的 景観のまちづくりに関して
- 11月11日 視察先 千葉県東金市役所
目的 コンパクトシティの現状

【江戸川区役所】

江戸川区は川と海に囲まれ、河川を中心に緑が多くある地域であることから、水と緑を生かした都市の景観づくりに取り組んでいる。

また、下町ということから、ハード面だけではなく、人と人のつながりを生かしたソフト面も景観の一つと位置づけ、「えどがわ百景」はその活動の一環である。

当地は景観計画がないとビルが乱立することになってしまい、計画の中ではいろいろと制限をかけているが、それだけではなく、区民も一緒に参加して、景観の良いところを盛り上げていくことを目指して計画策定を進めて



江戸川区の水と緑を生かした都市景観

【東金市役所】

百景に選ばれた総合文化センターや陸上競技場などの施設も視察した。

東金市のまちづくりは、JR東金線の3つの駅を中心にコンパクトな市街地形成を目指しており、豊かな自然環境や農地との調和を図りながら、住宅地、商業地、工業地の適正配置に務めている。また、いくつかの施設を複合的に組み合わせながら、長期的視点に立ったコンパクトシティ構想に取り組んでいる。

なお水道事業は、一級河川利根川を水源とする水資源機構による直轄管理である。

まちづくりの主要施設として、文化会館や産業交流拠点施設などの施設も視察した。安曇野市のまちづくりの一助にしたいと考えている。

市民の

The Voice



文化のまちに

この

ごろ、私は安曇野の西にそびえる北アルプスの景観にまはっている。少し前までは、毎日見ている身近な山だから、さして気にもせず当たり前だと思っていたが、それがもったいないことに気づいたからだ。四季折々に見える大自然の山の風貌は、美しく優しく、ある時は猛々しく凄み、見る者を圧倒する。

日本

の山岳美の代表といえども、ちろん富士山で、年々多くの観光客で賑わっているが、次は北アルプスをおいて他にはない。安曇野の名は今や全国に広がっているが、北アルプスの名はそれ程でもない。だが、東南アジアやオーストラリア（中国とインドを除く）といった国々の人達が北アルプスを見たらどう感じるだろう。

今、

多くの観光客は松本城を見て、次は善光寺へ向かうという。



小穴 竹豊さん
(豊科)

安曇野は車窓から眺めて通り過ぎるだけではつまらない。例えば、世界の主な山岳の資料を集めた大型山岳館を作るとか、光城山の峰に展望台を作り、ロープウェイで下と結ぶとか、犀川の河原で気球を揚げるとか、観光客の足を止める施設を作り、北アルプスを大々的に宣伝すれば、国内といわず諸外国からの観光客を呼べるのではないか。むろんそれには資金がかかり時間もかかるが、長期計画としてぜひやってもらいたい。

また、市は立派な近代美術館を持つているが、せめて年一回ぐらい、内外の主な美術家の展覧会ができるよう、財団まかせではなく、資金を手当てして頂きたい。県下一を誇るパチンコ店は要らない。文化都市を名乗る安曇野市の誇りにかけて。

議会傍聴へようこそ！

平成27年安曇野市議会3月定例会は**2月20日(金)～3月20日(金)**頃を予定。皆さんの傍聴をお待ちしています。
なお、議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施中です！ぜひご覧ください。
※請願・陳情の締切は定例会開会日の10日前です。それ以降の提出は次の定例会での審議になりますのでご注意ください。

編集後記



◆孫の祖父母参観に出かけました。園長先生のお話の中に最近の子どもは物をよけて歩く感覚に乏しいとありました。田んぼのデコボコ感がバランスを保つのに良いとも。私たちの幼少時代では当たり前前の光景でしたが、そんな環境を与えてやりたいものです。さて、今回の議会だよりは会派代表質問などを中心にお届けします。ぜひご覧ください。また、この広報紙が皆様の茶の間の片すみにあって、折に触れて家族団らんの話としていただけましたら幸いです。 山田 幸与

◆2分の1成人式（10歳の成人式）。最近小学校で記念となる催しの報道を見た。安曇野市も10周年を迎えるが、20周年に向けて平成27年度は重要な通過点となる。特に社会保障に関する国の政策が大きく変化する今こそ、我々議員は行政のチェックだけではなく、政策提言が求められる。それに応えられる議員としての成人になりたい。 小松 芳樹

議会広報特別委員会

委員長 坂内不二男 委員 林 孝彦 井出 勝正 中村今朝子 山田 幸与
副委員長 増田望三郎 一志信一郎 藤原 正三 内川 集雄 小松 芳樹

気軽にご意見をお聞かせください。

安曇野市議会だより 第37号

〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川 2750-1

安曇野市堀金支所内

平成27年2月4日発行
TEL 0263-71-2156 FAX 0263-71-2150

http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html
E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社安曇印刷

古紙配合率80%
再生紙を使用しています。



議会からのお知らせ

安曇野市議会基本条例の条文ごとの解説ができました

議会事務局(堀金支所内)で、または議会ホームページでご覧いただけます。

公職選挙法に基づき「寄附行為の禁止」を徹底します

議員が地域行事、祭りなどへ寄附や差し入れをしたり、開店祝いや葬儀の花輪、病気見舞い(親族以外)、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典などを贈ることは禁止です。

「寄附行為 しない、させない、求めない」